2015～2017年度カリキュラム（医療人教育）

★ 薬学専門教育 | ● ヒューマニズム・医療倫理 | ■ 教養教育・◆語学教育 | ◎ 問題発見解決能力 | ◇ 医療安全教育 | ▼ 生涯学習意欲醸成 | ※ コミュニケーション能力

分類	科目名	対応教育項目												
		1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	5年前期	5年後期	6年前期	6年後期	合計
総合教養教育科目	総合教養教育科目(選択)	■												21
	外国語科目	◆	◆											
	基礎数学演習	■												
	基礎物理学演習	■												
	基礎化学演習	■												
	基礎生物学演習	■												
薬学総合教育科目	薬学への招待	★●◎◇▼※												20
	医療倫理学		★●											
	初年次ゼミナール	●※												
	サイエンスコミュニケーション		★◎※											
	薬学対話演習			●◎◇※										
	基礎薬学英語				◆									
	医療薬学英語					◆※								
	基礎薬学総合演習								★					
	卒業特別ゼミナール											◎▼●		
	卒業特別講義												★	
物理系薬学	化学物質の構造と性質		★											24
	溶液の性質と化学反応速度論			★										
	熱力学と物理平衡				★									
	医薬品分析化学		★											
	臨床分析技術			★										
	機器分析化学				★									
	物理系薬学演習						★◎※							
化学系薬学	無機化学	★												
	有機薬化学Ⅰ		★											
	有機薬化学Ⅱ			★										
	有機薬化学Ⅲ				★									
	医薬品化学					★								
	天然物化学		★											
	生薬学			★										
	化学系薬学演習						★◎※							
生物系薬学	生化学Ⅰ		★											17
	生化学Ⅱ			★										
	生体情報化学				★									
	免疫学			★										
	分子生物学			★										
	遺伝子工学					★								
	微生物薬品化学				★									
	臨床微生物学					★								
	生物系薬学演習						★◎※							
衛生薬学	公衆衛生学			★										10
	衛生化学				★									
	食品衛生学演習					★								
	環境毒性学						★							
	環境衛生学							★						
	衛生薬学演習								★					
医療系薬学	人体構成学Ⅰ			★◎										31
	人体構成学Ⅱ				★◎									
	病態生理学Ⅰ					★◎								
	病態生理学Ⅱ						★◎							
	薬理学Ⅰ				★									
	薬理学Ⅱ					★								
	薬理学Ⅲ						★◎●							
	薬理学演習							★◎※						
	薬物治療学Ⅰ						★							
	薬物治療学Ⅱ							★◎●						
	薬物治療学演習								★◎※					
	生物薬剤学				★									
	物理薬剤学					★								
	薬物動態学					★								
	薬物代謝学						★							
	製剤学							★						
	製剤機能論								★					
	薬剤学演習								★◎					

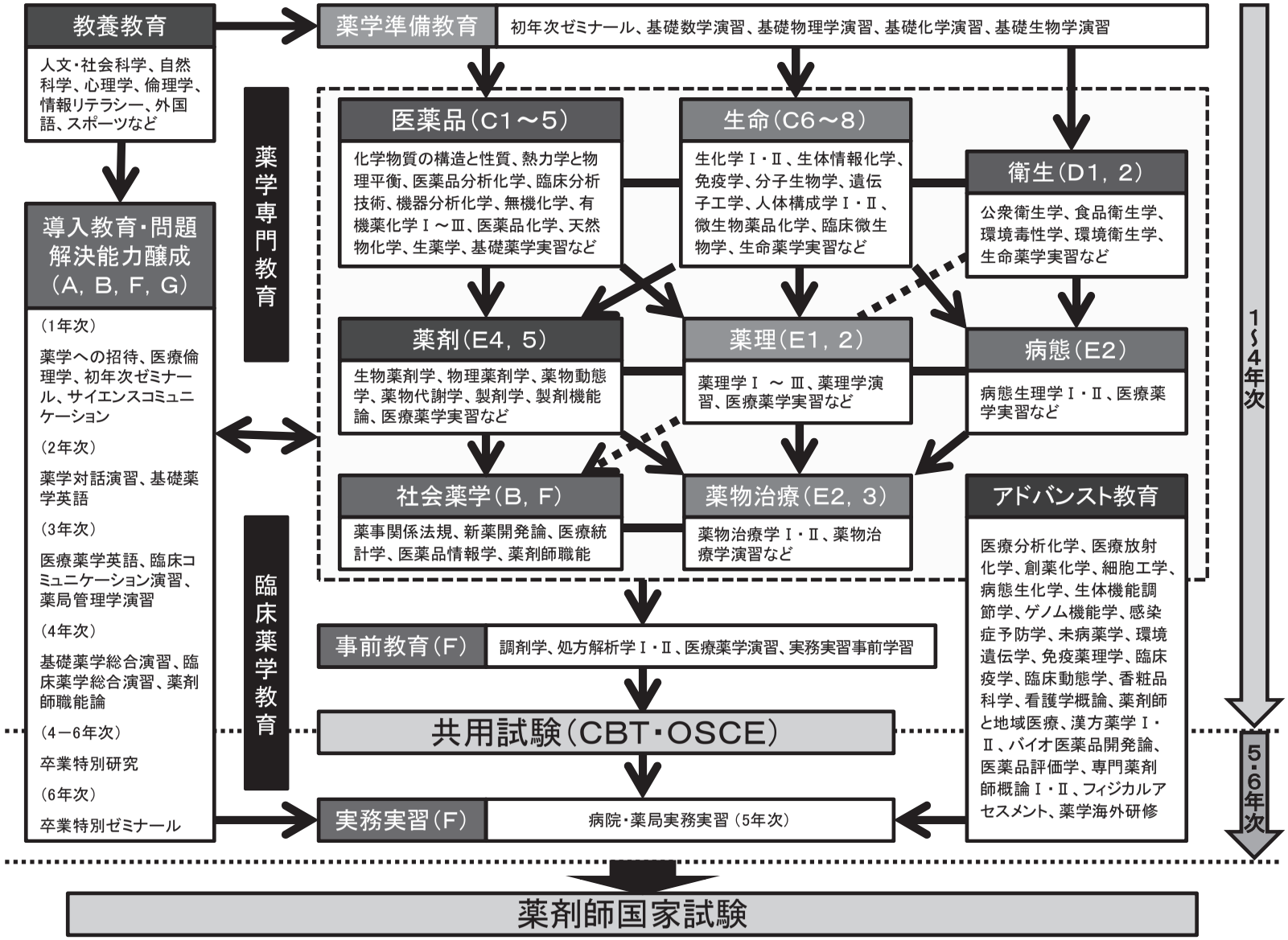
分類	科目名	対応教育項目												
		1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	5年前期	5年後期	6年前期	6年後期	合計
臨床系薬学	薬事関係法規							★●◇						19
	新薬開発論								★●◎◇※					
	医療統計学					★								
	医薬品情報学						★◎◇							
	薬局管理学演習					★◇▼※								
	臨床コミュニケーション演習						★●◎◇※							
	薬剤師職能論							★◇▼						
	調剤学						★◇							
	医療薬学演習							★◎●						
	処方解析学Ⅰ							★◎●						
	処方解析学Ⅱ								★◎					
	臨床薬学総合演習								●★◎◇※					
実習科目	基礎薬学実習(物理系・化学系)			★◎										36
	生命薬学実習Ⅰ(生化学・免疫学)				★◎									
	生命薬学実習Ⅱ(衛生・微生物)					★◎								
	医療薬学実習(薬理・薬剤)						★◎●							
	実務実習事前学習							★●◎◇※						
	病院・薬局実務実習									●◎◇▼※				
	卒業特別研究							●◆◎◇▼※						
アドバンスト科目	薬剤師と地域医療							●◎◇▼※						27
	臨床心理学				●▼									
	看護学概論					●◇								
	研究開発入門							★◎▼						
	医療放射化学					★▼								
	創薬化学					★▼								
	細胞工学						★▼							
	病態生化学					★▼								
	生体機能調節学						★▼							
	生体防御科学						★◇▼							
	ゲノム科学						★▼							
	感染症予防学								★◇▼					
	未病薬学							★▼						
	環境遺伝学								★▼					
	免疫薬理学								★▼					
	漢方薬学Ⅰ								★▼					
	漢方薬学Ⅱ									★▼				
	臨床疫学								★▼					
	臨床動態学								★◎▼※					
	香粧品科学							★▼						
	バイオ医薬品開発論									●◎◇▼※				
	レギュラトリーサイエンス									●◎◇▼※				
	専門薬剤師概論Ⅰ									●◇▼				
	専門薬剤師概論Ⅱ									●◇▼				
	フィジカルアセスメント									●◎◇▼				
	薬学海外研修									●◆◎▼※				

● ヒューマニズム・医療倫理　19科目／52単位　◎ 問題発見解決能力　19科目／52単位　◇ 医療安全　19科目／52単位
▼ 生涯学習　32科目／62単位　※ コミュニケーション能力　13科目／45単位

医療人教育１／５（●■◆◎◇▼※）　教養教育　67科目／127単位　語学科目　18科目／18単位

●◎◇▼※　50科目／86単位	合計　135科目／231単位	問題解決1／10　19科目／52単位	独自専門教育　32科目／33単位

カリキュラムツリー（科目間の順次性と関連図）



改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム（2015～2017年度）の概要と対応科目一覧（2015年度入学生以降）

	項　目	SBO数			科目名（主要責任科目）
A	**基本事項**			67	
	⑴薬剤師の使命 医療と薬学の歴史を認識するとともに，国民の健康管理，医療安全，薬害防止における役割を理解し，薬剤師としての使命感を身につける。		26		
	【①医療人として】	7			薬学への招待・初年次ゼミナール/薬学対話演習/医療倫理学
	【②薬剤師が果たすべき役割】	8			薬学への招待/薬学対話演習/薬局管理学演習
	【③患者安全と薬害の防止】	7			薬学対話演習/臨床薬学総合演習
	【④薬学の歴史と未来】	4			薬学への招待
	⑵薬剤師に求められる倫理観 倫理的問題に配慮して主体的に行動するために，生命・医療に係る倫理観を身につけ，医療の担い手としての感性を養う。		14		
	【①生命倫理】	4			医療倫理学
	【②医療倫理】	3			
	【③患者の権利】	4			薬学対話演習
	【④研究倫理】	3			新薬開発論
	⑶信頼関係の構築 患者・生活者，他の職種との対話を通じて相手の心理，立場，環境を理解し，信頼関係を構築するために役立つ能力を身につける。		11		
	【①コミュニケーション】	9			薬学対話演習/臨床コミュニケーション演習
	【②患者・生活者と薬剤師】	2			
	⑷多職種連携協働とチーム医療 医療・福祉・行政・教育機関及び関連職種の連携の必要性を理解し，チームの一員としての在り方を身につける。	5	5		臨床薬学総合演習
	⑸自己研鑽と次世代を担う人材の育成 生涯にわたって自ら学ぶことの必要性・重要性を理解し，修得した知識・技能・態度を確実に次世代へ継承する意欲と行動力を身につける。		11		
	【①学習の在り方】	5			薬学への招待・初年次ゼミナール/臨床コミュニケーション演習
	【②薬学教育の概要】	2			薬学への招待・初年次ゼミナール/薬剤師職能論
	【③生涯学習】	2			病院・薬局実務実習
	【④次世代を担う人材の育成】	2			卒業論文実習
B	**薬学と社会** 人と社会に関わる薬剤師として自覚を持って行動するために，保健・医療・福祉に係る法規範・制度・経済，及び地域における薬局と薬剤師の役割を理解し，義務及び法令を遵守する態度を身につける。			48	
	⑴人と社会に関わる薬剤師 人の行動や考え方，社会の仕組みを理解し，人・社会と薬剤師の関わりを認識する。	5	5		薬学への招待・初年次ゼミナール/薬学対話演習/臨床コミュニケーション演習
	⑵薬剤師と医薬品等に係る法規範 調剤，医薬品等（医薬品，医薬部外品，化粧品，医療機器，再生医療等製品）の供給，その他薬事衛生に係る任務を薬剤師として適正に遂行するために必要な法規範とその意義を理解する。	22			
	【①薬剤師の社会的位置づけと責任に係る法規範】	8			薬事関係法規
	【②医薬品等の品質，有効性及び安全性の確保に係る法規範】	11			新薬開発論
	【③特別な管理を要する薬物等に係る法規範】	3			薬事関係法規
	⑶社会保障制度と医療経済 社会保障制度のもとで提供される医療と福祉について，現状と課題を認識するとともに，薬剤師が担う役割とその意義を理解する。		11		
	【①医療，福祉，介護の制度】	7			薬事関係法規
	【②医薬品と医療の経済性】	4			薬剤師職能論・薬事関係法規
	⑷地域における薬局と薬剤師 地域の保健，医療，福祉について，現状と課題を認識するとともに，その質を向上させるための薬局及び薬剤師の役割とその意義を理解する。		10		
	【①地域における薬局の役割】	5			薬局管理学演習
	【②地域における保健，医療，福祉の連携体制と薬剤師】	5			
C	**薬学基礎**				
C1	**物質の物理的性質** 物質の物理的性質を理解するために，原子・分子の構造，熱力学，反応速度論などに関する基本的事項を身につける。			56	
	⑴物質の構造 物質を構成する原子・分子の構造，および化学結合に関する基本的事項を修得する。		21		

	項　　目	SBO数			科目名（主要責任科目）
	【①化学結合】	3			化学物質の構造と性質
	【②分子間相互作用】	7			化学物質の構造と性質
	【③原子・分子の挙動】	6			機器分析化学
	【④放射線と放射能】	5			化学物質の構造と性質
	(2)物質のエネルギーと平衡 物質の状態を理解するために，熱力学に関する基本的事項を修得する。		28		
	【①気体の微視的状態と巨視的状態】	3			熱力学と物理平衡
	【②エネルギー】	7			
	【③自発的な変化】	5			
	【④化学平衡の原理】	4			
	【⑤相平衡】	3			溶液の性質と化学反応速度論
	【⑥溶液の性質】	4			
	【⑦電気化学】	2			熱力学と物理平衡
	(3)物質の変化 物質の変換過程を理解するために，反応速度論に関する基本的事項を修得する。		7		
	【①反応速度】	7			溶液の性質と化学反応速度論
C2　化学物質の分析 化学物質（医薬品を含む）を適切に分析できるようになるために，物質の定性，定量に関する基本的事項を修得する。				45	
	(1)分析の基礎 化学物質の分析に用いる器具の使用法と得られる測定値の取り扱いに関する基本的事項を修得する。		3		
	【①分析の基本】	3			医薬品分析化学
	(2)溶液中の化学平衡 溶液中の化学平衡に関する基本的事項を修得する。		8		
	【①酸・塩基平衡】	4			医薬品分析化学
	【②各種の化学平衡】	4			
	(3)化学物質の定性分析・定量分析 化学物質の定性分析および定量分析に関する基本的事項を修得する。		9		
	【①定性分析】	2			医薬品分析化学
	【②定量分析（容量分析・重量分析）】	7			
	(4)機器を用いる分析法 機器を用いる分析法の原理とその応用に関する基本的事項を修得する。		12		
	【①分光分析法】	6			機器分析化学
	【②核磁気共鳴スペクトル測定法】	1			
	【③質量分析法】	1			
	【④X線分析法】	2			
	【⑤熱分析】	2			
	(5)分離分析法 分離分析法に関する基本的事項を修得する。		6		
	【①クロマトグラフィー】	5			臨床分析技術
	【②電気泳動法】	1			
	(6)臨床現場で用いる分析技術 臨床現場で用いる代表的な分析技術に関する基本的事項を修得する。		7		
	【①分析の準備】	2			臨床分析技術
	【②分析技術】	5			
C3　化学物質の性質と反応 化学物質を理解できるようになるために，代表的な有機化合物の構造，性質，反応，分離法，構造決定法，および無機化合物の構造と性質に関する基本的事項を修得する。				61	
	(1)化学物質の基本的性質 基本的な有機化合物の命名法，電子配置，反応，立体構造などに関する基本的事項を修得する。		17		
	【①基本事項】	9			有機薬化学Ⅰ～Ⅲ
	【②有機化合物の立体構造】	8			有機薬化学Ⅰ
	(2)有機化合物の基本骨格の構造と反応 有機化合物の基本骨格となる脂肪族および芳香族化合物の構造，性質，反応性などに関する基本的事項を修得する。		13		
	【①アルカン】	5			有機薬化学Ⅰ
	【②アルケン・アルキン】	3			
	【③芳香族化合物】	5			有機薬化学Ⅱ
	(3)官能基の性質と反応 官能基を有する有機化合物の性質，反応性に関する基本的事項を修得する。		14		

	項　　目	ＳＢＯ数			科目名（主要責任科目）
	【①概説】	2			有機薬化学Ⅲ
	【②有機ハロゲン化合物】	3			有機薬化学Ⅰ
	【③アルコール･フェノール･エーテル】	2			有機薬化学Ⅲ
	【④アルデヒド・ケトン・カルボン酸・カルボン酸誘導体】	3			
	【⑤アミン】	1			
	【⑥電子効果】	1			有機薬化学Ⅱ
	【⑦酸性度・塩基性度】	2			有機薬化学Ⅲ
	(4)化学物質の構造決定 代表的な機器分析としての核磁気共鳴（NMR），赤外吸収（IR），質量分析による構造決定法の基本的事項を修得する。		12		
	【①核磁気共鳴（NMR)】	5			機器分析化学
	【②赤外吸収（IR)】	2			
	【③質量分析（MS)】	4			
	【④総合演習】	1			基礎薬学実習
	(5)無機化合物・錯体の構造と性質 代表的な無機化合物・錯体（医薬品を含む）の構造，性質に関する基本的事項を修得する。		5		
	【①無機化合物・錯体】	5			無機化学
C4　生体分子・医薬品の化学による理解 医薬品の生体内での作用を化学的に理解できるようになるために，医薬品標的および医薬品の構造と性質，生体反応の化学に関する基本的事項を修得する。				36	
	(1)医薬品の標的となる生体分子の構造と化学的な性質 医薬品の標的となる生体分子の基本構造と，その化学的な性質に関する基本的事項を修得する。		6		
	【①医薬品の標的となる生体高分子の化学構造】	2			生化学Ⅰ
	【②生体内で機能する小分子】	4			
	(2)生体反応の化学による理解 医薬品の作用の基礎となる生体反応の化学的理解に関する基本的事項を修得する。		9		
	【①生体内で機能するリン，硫黄化合物】	2			生体情報化学
	【②酵素阻害剤と作用様式】	3			生化学Ⅰ
	【③受容体のアゴニストおよびアンタゴニスト】	2			生体情報化学
	【④生体内で起こる有機反応】	2			生化学Ⅰ
	(3)医薬品の化学構造と性質，作用 医薬品に含まれる代表的な構造およびその性質を医薬品の作用と関連づける基本的事項を修得する。		21		
	【①医薬品と生体分子の相互作用】	1			医薬品化学
	【②医薬品の化学構造に基づく性質】	2			
	【③医薬品のコンポーネント】	3			
	【④酵素に作用する医薬品の構造と性質】	6			
	【⑤受容体に作用する医薬品の構造と性質】	5			
	【⑥DNAに作用する医薬品の構造と性質】	3			
	【⑦イオンチャネルに作用する医薬品の構造と性質】	1			
C5　自然が生み出す薬物 自然界に存在する物質を医薬品として利用できるようになるために，代表的な生薬の基原，特色，臨床応用および天然生物活性物質の単離，構造，物性，作用などに関する基本的事項を修得する。				23	
	(1)薬になる動植鉱物 基原，性状，含有成分，品質評価などに関する基本的事項を修得する。		12		
	【①薬用植物】	4			生薬学
	【②生薬の基原】	1			
	【③生薬の用途】	2			
	【④生薬の同定と品質評価】	5			
	(2)薬の宝庫としての天然物 医薬品資源としての天然生物活性物質を構造によって分類・整理するとともに，天然生物活性物質の利用に関する基本的事項を修得する。		11		
	【①生薬由来の生物活性物質の構造と作用】	5			天然物化学
	【②微生物由来の生物活性物質の構造と作用】	2			
	【③天然生物活性物質の取扱い】	1			
	【④天然生物活性物質の利用】	3			
C6　生命現象の基礎 生命現象を細胞レベル，分子レベルで理解できるようになるために，生命体の最小単位である細胞の成り立ちや生命現象を担う分子に関する基本的事項を修得する。				61	

	項　　目	SBO数			科目名（主要責任科目）
	(1)細胞の構造と機能 細胞膜，細胞小器官，細胞骨格などの構造と機能に関する基本的事項を修得する。		3		
	【①細胞膜】	1			生体情報化学／基礎生物学演習
	【②細胞小器官】	1			
	【③細胞骨格】	1			
	(2)生命現象を担う分子 生命現象を担う分子の構造，性質，役割に関する基本的事項を修得する。		9		
	【①脂質】	1			生化学Ⅱ／基礎生物学演習
	【②糖質】	2			
	【③アミノ酸】	1			生化学Ⅰ
	【④タンパク質】	1			
	【⑤ヌクレオチドと核酸】	1			分子生物学
	【⑥ビタミン】	1			生化学Ⅰ
	【⑦微量元素】	1			
	【⑧生体分子の定性，定量】	1			生命薬学実習Ⅰ（生化学・免疫学）
	(3)生命活動を担うタンパク質 生命活動を担うタンパク質の構造，性質，機能，代謝に関する基本的事項を修得する。		9		
	【①タンパク質の構造と機能】	1			生化学Ⅰ
	【②タンパク質の成熟と分解】	2			
	【③酵素】	4			
	【④酵素以外のタンパク質】	2			
	(4)生命情報を担う遺伝子 生命情報を担う遺伝子の複製，発現と，それらの制御に関する基本的事項を修得する。		14		
	【①概論】	2			分子生物学
	【②遺伝情報を担う分子】	3			
	【③遺伝子の複製】	1			
	【④転写・翻訳の過程と調節】	5			
	【⑤遺伝子の変異・修復】	1			
	【⑥組換えDNA】	2			遺伝子工学
	(5)生体エネルギーと生命活動を支える代謝系 生体エネルギーの産生，貯蔵，利用，およびこれらを担う糖質，脂質，タンパク質，核酸の代謝に関する基本的事項を修得する。		13		
	【①概論】	1			生化学Ⅱ
	【②ATPの産生と糖質代謝】	5			
	【③脂質代謝】	2			
	【④飢餓状態と飽食状態】	2			
	【⑤その他の代謝系】	3			
	(6)細胞間コミュニケーションと細胞内情報伝達 細胞間コミュニケーション及び細胞内情報伝達の方法と役割に関する基本的事項を修得する。		8		
	【①概論】	1			生体情報化学
	【②細胞内情報伝達】	5			
	【③細胞間コミュニケーション】	2			
	(7)細胞の分裂と死 細胞周期と分裂，細胞死に関する基本的事項を修得する。		5		
	【①細胞分裂】	2			分子生物学
	【②細胞死】	1			
	【③がん細胞】	2			
C7　人体の成り立ちと生体機能の調節 人体の成り立ちを個体，器官，細胞の各レベルで理解できるようになるために，人体の構造，機能，調節に関する基本的事項を修得する。				38	
	(1)人体の成り立ち 遺伝，発生，および各器官の構造と機能に関する基本的事項を修得する。		24		
	【①遺伝】	3			遺伝子工学
	【②発生】	2			
	【③器官系概論】	3			人体構成学Ⅰ
	【④神経系】	2			
	【⑤骨格系・筋肉系】	2			

	項　　目	ＳＢＯ数			科目名（主要責任科目）
	【⑥皮膚】	1			人体構成学Ⅰ
	【⑦循環器系】	3			
	【⑧呼吸器系】	1			人体構成学Ⅱ
	【⑨消化器系】	2			
	【⑩泌尿器系】	1			
	【⑪生殖器系】	1			人体構成学Ⅰ
	【⑫内分泌系】	1			
	【⑬感覚器系】	1			人体構成学Ⅱ
	【⑭血液・造血器系】	1			人体構成学Ⅰ
	⑵生体機能の調節 生体の維持に関わる情報ネットワークを担う代表的な情報伝達物質の種類，作用発現機構に関する基本的事項を修得する。		14		
	【①神経による調節機構】	4			人体構成学Ⅰ
	【②ホルモン・内分泌系による調節機構】	1			
	【③オータコイドによる調節機構】	1			薬理学Ⅰ
	【④サイトカイン・増殖因子による調節機構】	1			免疫学
	【⑤血圧の調節機構】	1			人体構成学Ⅰ
	【⑥血糖の調節機構】	1			
	【⑦体液の調節】	2			
	【⑧体温の調節】	1			病態生理Ⅰ
	【⑨血液凝固・線溶系】	1			
	【⑩性周期の調節】	1			人体構成学Ⅱ
C8　生体防御と微生物 生体の恒常性が崩れた時に生ずる変化を理解できるようになるために，免疫反応による生体防御機構とその破綻，及び代表的な病原微生物に関する基本的事項を修得する。				48	
	⑴身体をまもる ヒトの主な生体防御反応としての免疫応答に関する基本的事項を修得する。		12		
	【①生体防御反応】	4			免疫学
	【②免疫を担当する組織・細胞】	3			
	【③分子レベルで見た免疫のしくみ】	5			
	⑵免疫系の制御とその破綻・免疫系の応用 免疫応答の制御とその破綻，および免疫反応の臨床応用に関する基本的事項を修得する。		10		
	【①免疫応答の制御と破綻】	6			免疫学
	【②免疫反応の利用】	4			
	⑶微生物の基本 微生物の分類，構造，生活環などに関する基本的事項を修得する。		15		
	【①総論】	1			微生物薬品化学
	【②細菌】	6			
	【③ウイルス】	1			
	【④真菌・原虫・蠕虫】	2			
	【⑤消毒と滅菌】	2			
	【⑥検出方法】	3			生命薬学実習Ⅱ（微生物）
	⑷病原体としての微生物 ヒトと微生物の関わりおよび病原微生物に関する基本的事項を修得する。		11		
	【①感染の成立と共生】	2			臨床微生物学
	【②代表的な病原体】	9			
D　衛生薬学					
D1　健康 人々の健康増進，公衆衛生の向上に貢献できるようになるために，現代社会における疾病とその予防，栄養と健康に関する基本的知識，技能，態度を修得する。				39	
	⑴社会・集団と健康 人々（集団）の健康と疾病の現状およびその影響要因を把握するために，保健統計と疫学に関する基本的事項を修得する。		8		
	【①健康と疾病の概念】	1			公衆衛生学
	【②保健統計】	3			
	【③疫学】	4			
	⑵疾病の予防 健康を理解し疾病の予防に貢献できるようになるために，感染症，生活習慣病，職業病などについての現状とその予防に関する基本的事項を修得する。		13		

	項　　目	SBO数			科目名（主要責任科目）
	【①疾病の予防とは】	2			公衆衛生学
	【②感染症とその予防】	4			公衆衛生学/臨床微生物学
	【③生活習慣病とその予防】	3			公衆衛生学
	【④母子保健】	2			
	【⑤労働衛生】	2			
	⑶栄養と健康 食生活が健康に与える影響を科学的に理解するために，栄養と食品機能，食品衛生に関する基本的事項を修得する。		18		
	【①栄養】	8			衛生化学Ⅰ
	【②食品機能と食品衛生】	7			
	【③食中毒と食品汚染】	3			衛生化学Ⅱ
D2　環境 人々の健康にとってより良い環境の維持と公衆衛生の向上に貢献できるようになるために，化学物質などのヒトへの影響，適正な使用，および地球生態系や生活環境と健康との関わりにおける基本的知識，技能，態度を修得する。				41	
	⑴化学物質・放射線の生体への影響 化学物質などの生体への有害作用を回避し，適正に使用できるようになるために，化学物質の毒性などに関する基本的事項を修得する。		19		
	【①化学物質の毒性】	7			環境毒性学
	【②化学物質の安全性評価と適正使用】	5			
	【③化学物質による発がん】	3			
	【④放射線の生体への影響】	4			
	⑵生活環境と健康 地球生態系や生活環境を保全，維持できるようになるために，環境汚染物質などの成因，測定法，生体への影響，汚染防止，汚染除去などに関する基本的事項を修得する。		22		
	【①地球環境と生態系】	5			環境衛生学
	【②環境保全と法的規制】	3			
	【③水環境】	6			
	【④大気環境】	3			
	【⑤室内環境】	2			
	【⑥廃棄物】	3			
E　医療薬学					
E1　薬の作用と体の変化 疾病と薬物の作用に関する知識を修得し，医薬品の作用する過程を理解する。				28	
	⑴薬の作用 医薬品を薬効に基づいて適正に使用できるようになるために，薬物の生体内における作用に関する基本的事項を修得する。		13		
	【①薬の作用】	9			薬理学Ⅰ
	【②動物実験】	3			医療薬学実習（薬理・薬剤）
	【③日本薬局方】	1			
	⑵身体の病的変化を知る 身体の病的変化から疾患を推測できるようになるために，代表的な症候，病態・臨床検査に関する基本的事項を修得する。		9		
	【①症候】	1			病態生理学Ⅰ・Ⅱ/薬物治療学Ⅰ
	【②病態・臨床検査】	8			
	⑶薬物治療の位置づけ 医療チームの一員として薬物治療に参画できるようになるために，代表的な疾患における治療と薬物療法に関する基本的事項を修得する。	2	2		
	⑷医薬品の安全性 医薬品のリスクを回避できるようになるために，有害事象（副作用，相互作用），薬害，薬物乱用に関する基本的事項を修得する。	4	4		薬理学Ⅰ・態度は薬局管理学演習
E2　薬理・病態・薬物治療 患者情報に応じた薬の選択，用法・用量の設定および医薬品情報・安全性や治療ガイドラインを考慮した適正な薬物治療に参画できるようになるために，疾病に伴う症状などの患者情報を解析し，最適な治療を実施するための薬理，病態・薬物治療に関する基本的事項を修得する。				163	
	⑴神経系の疾患と薬 神経系・筋に作用する医薬品の薬理および疾患の病態・薬物治療に関する基本的知識を修得し，治療に必要な情報収集・解析および医薬品の適正使用に関する基本的事項を修得する。		23		
	【①自律神経系に作用する薬】	4			薬理学Ⅰ
	【②体性神経系に作用する薬・筋の疾患の薬，病態，治療】	4			薬理学Ⅱ/薬物治療学Ⅰ/病態生理学Ⅰ
	【③中枢神経系の疾患の薬，病態，治療】	14			

	項　　目	ＳＢＯ数			科目名（主要責任科目）
	【④化学構造と薬効】	1			薬理学Ⅰ
	⑵免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節に作用する医薬品の薬理および疾患の病態・薬物治療に関する基本的知識を修得し，治療に必要な情報収集・解析および医薬品の適正使用に関する基本的事項を修得する。		17		
	【①抗炎症薬】	3			薬理学Ⅲ/薬物治療学Ⅱ
	【②免疫・炎症・アレルギー疾患の薬，病態，治療】	9			薬物治療学Ⅱ
	【③骨・関節・カルシウム代謝疾患の薬，病態，治療】	4			
	【④化学構造と薬効】	1			
	⑶循環器系・血液系・造血器系・泌尿器系・生殖器系の疾患と薬 循環器系・血液・造血器系・泌尿器系・生殖器系に作用する医薬品の薬理および疾患の病態・薬物治療に関する基本的知識を修得し，治療に必要な情報収集・解析および医薬品の適正使用に関する基本的事項を修得する。		20		
	【①循環器系疾患の薬，病態，治療】	6			薬理学Ⅲ/病態生理学Ⅱ/薬物治療学演習
	【②血液・造血器系疾患の薬，病態，治療】	5			病態生理学Ⅰ/薬物治療学演習
	【③泌尿器系，生殖器系疾患の薬，病態，薬物治療】	8			薬物治療学Ⅰ・Ⅱ/病態生理学Ⅱ/薬理学Ⅱ
	【④化学構造と薬効】	1			薬理学演習
	⑷呼吸器系・消化器系の疾患と薬 呼吸器系・消化器系に作用する医薬品の薬理および疾患の病態・薬物治療に関する基本的知識を修得し，治療に必要な情報収集・解析および医薬品の適正使用に関する基本的事項を修得する。		14		
	【①呼吸器系疾患の薬，病態，治療】	4			薬理学Ⅲ/薬物治療学Ⅱ/病態生理学Ⅱ/薬物治療学演習
	【②消化器系疾患の薬，病態，治療】	9			
	【③化学構造と薬効】	1			薬理学Ⅰ
	⑸代謝系・内分泌系の疾患と薬 代謝系・内分泌系に作用する医薬品の薬理および疾患の病態・薬物治療に関する基本的知識を修得し，治療に必要な情報収集・解析および医薬品の適正使用に関する基本的事項を修得する。		9		
	【①代謝系疾患の薬，病態，治療】	3			薬物治療学Ⅱ/病態生理学Ⅰ
	【②内分泌系疾患の薬，病態，治療】	5			
	【③化学構造と薬効】	1			薬理学演習
	⑹感覚器・皮膚の疾患と薬 感覚器・皮膚の疾患と薬の薬理作用・機序および副作用に関する基本的知識を修得し，治療に必要な情報収集・解析および医薬品の適正使用に関する基本的事項を修得する。		11		
	【①眼疾患の薬，病態，治療】	4			薬物治療学Ⅰ/病態生理学Ⅱ
	【②耳鼻咽喉疾患の薬，病態，治療】	2			
	【③皮膚疾患の薬，病態，治療】	4			薬物治療学Ⅰ・Ⅱ
	【④化学構造と薬効】	1			薬理学演習
	⑺病原微生物（感染症）・悪性新生物（がん）と薬 病原微生物（細菌，ウイルス，真菌，原虫），および悪性新生物に作用する医薬品の薬理および疾患の病態・薬物治療に関する基本的知識を修得し，治療に必要な情報収集・解析および医薬品の適正使用に関する基本的事項を修得する。		42		
	【①抗菌薬】	2			微生物薬品化学
	【②抗菌薬の耐性】	1			
	【③細菌感染症の薬，病態，治療】	10			臨床微生物学
	【④ウイルス感染症およびプリオン病の薬，病態，治療】	6			
	【⑤真菌感染症の薬，病態，治療】	2			
	【⑥原虫・寄生虫感染症の薬，病態，治療】	2			
	【⑦悪性腫瘍】	3			病態生理学Ⅰ・Ⅱ/薬理学演習/処方解析Ⅱ
	【⑧悪性腫瘍の薬，病態，治療】	13			
	【⑨がん終末期医療と緩和ケア】	2			
	【⑩化学構造と薬効】	1			薬理学演習
	⑻バイオ・細胞医薬品とゲノム情報 医薬品としてのタンパク質，遺伝子，細胞を適正に利用するために，それらを用いる治療に関する基本的知識を修得し，倫理的態度を身につける。併せて，ゲノム情報の利用に関する基本的事項を修得する。		8		
	【①組換え体医薬品】	3			遺伝子工学
	【②遺伝子治療】	1			
	【③細胞，組織を利用した移植医療】	4			

	項　目	SBO数			科目名（主要責任科目）
	⑼一般用医薬品・セルフメディケーション 適切な薬物治療および地域の保健・医療に貢献できるようになるために，要指導医薬品･一般用医薬品およびセルフメディケーションに関する基本的知識を修得する。併せて，薬物治療実施に必要な情報を自ら収集するための基本的事項を修得する。	8	8		薬局管理学演習
	⑽医療の中の漢方薬 漢方の考え方，疾患概念，代表的な漢方薬の適応，副作用や注意事項などに関する基本的事項を修得する。		8		
	【①漢方薬の基礎】	4			処方解析学Ⅰ/漢方薬学
	【②漢方薬の応用】	3			
	【③漢方薬の注意点】	1			
	（11）薬物治療の最適化 最適な薬物治療の実現に貢献できるようになるために，治療に必要な情報収集・解析および医薬品の適正使用に関する基本的事項を修得する。		3		
	【①総合演習】	3			臨床コミュニケーション演習/処方解析Ⅰ/医療薬学演習
E3　薬物治療に役立つ情報 薬物治療に必要な情報を医療チームおよび患者に提供したり，処方設計を提案したり，臨床上の問題解決ができるようになるために，医薬品情報ならびに患者情報の収集・評価・加工，臨床研究デザイン・解析などに関する基本的知識を修得し，それらを活用するための基本的事項を身につける。				58	
	⑴医薬品情報 医薬品情報の収集・評価・加工・提供・管理・評価，EBM の実践，生物統計ならびに臨床研究デザイン・解析に関する基本的事項を修得する。		39		
	【①情報】	5			新薬開発論
	【②情報源】	6			医薬品情報学
	【③収集・評価・加工・提供・管理】	5			
	【④EBM（Evidence-basedMedicine）】	4			
	【⑤生物統計】	7			医療統計学
	【⑥臨床研究デザインと解析】	9			医薬品情報学
	【⑦医薬品の比較・評価】	3			薬局管理学演習
	⑵患者情報 患者からの情報の収集，評価に必要な基本的事項を修得する。		6		
	【①情報と情報源】	2			医薬品情報学/調剤学
	【②収集・評価・管理】	4			
	⑶個別化医療 薬物治療の個別化に関する基本的事項を修得する。		13		
	【①遺伝的素因】	3			薬物代謝学
	【②年齢的要因】	2			
	【③臓器機能低下】	3			薬物代謝学・薬物動態学
	【④その他の要因】	3			
	【⑤個別化医療の計画・立案】	2			新薬開発論・技能は事前学習
E4　薬の生体内運命 薬物の生体内運命を理解し，個々の患者の投与設計ができるようになるために，薬物の体内動態およびその解析に関する基本的知識を修得し，それらを応用する基本的技能を身につける。				33	
	⑴薬物の体内動態 吸収，分布，代謝，排泄の各過程および薬物動態学的相互作用に関する基本的事項を修得する。		23		
	【①生体膜透過】	2			生物薬剤学
	【②吸収】	5			
	【③分布】	6			
	【④代謝】	5			生物薬剤学/薬物代謝学
	【⑤排泄】	5			生物薬剤学
	⑵薬物動態の解析 薬物動態の理論的解析ならびに投与設計に関する基本的事項を修得する。		10		
	【①薬物速度論】	6			薬物動態学
	【②TDM（TherapeuticDrugMonitoring）と投与設計】	4			
E5　製剤化のサイエンス 製剤化の意義と製剤の性質を理解するために，薬物と製剤材料の物性，製剤設計，および薬物送達システムに関する基本的事項を修得する。				36	
	⑴製剤の性質 薬物と製剤材料の物性に関する基本的事項を修得する。		14		

	項　　目	ＳＢＯ数			科目名（主要責任科目）
	【①固形材料】	5			物理薬剤学
	【②半固形・液状材料】	2			
	【③分散系材料】	4			
	【④薬物及び製剤材料の物性】	3			
	⑵製剤設計 製剤の種類，製造，品質などに関する基本的事項を修得する。		11		
	【①代表的な製剤】	6			製剤学
	【②製剤化と製剤試験法】	4			
	【③生物学的同等性】	1			製剤機能論
	⑶DDS（DrugDeliverySystem：薬物送達システム） 薬物の投与形態や薬物体内動態の制御法などを工夫したDDSに関する基本的事項を修得する。		11		
	【①DDSの必要性】	2			製剤機能論
	【②コントロールドリリース（放出制御）】	3			
	【③ターゲティング（標的指向化）】	3			
	【④吸収改善】	3			
F	**薬学臨床** 患者・生活者本位の視点に立ち，薬剤師として病院や薬局などの臨床現場で活躍するために，薬物療法の実践と，チーム医療・地域保健医療への参画に必要な基本的事項を修得する。			176	
	⑴薬学臨床の基礎 医療の担い手として求められる活動を適切な態度で実践するために，薬剤師の活躍する臨床現場で必要な心構えと薬学的管理の基本的な流れを把握する。		25		
	【①早期臨床体験】※原則として2年次修了までに学習する事項	3			薬学への招待/薬学対話演習
	【②臨床における心構え】〔A⑴，⑵参照〕	7			実務実習事前学習/臨床薬学総合演習/病院・薬局実務実習
	【③臨床実習の基礎】	15			
	⑵処方せんに基づく調剤 処方せんに基づいた調剤業務を安全で適正に遂行するために，医薬品の供給と管理を含む基本的調剤業務を修得する。		76		
	【①法令・規則等の理解と遵守】〔B⑵，⑶参照〕	4			実務実習事前学習/臨床薬学総合演習/調剤学/病院・薬局実務実習
	【②処方せんと疑義照会】	11			
	【③処方せんに基づく医薬品の調製】	19			
	【④患者・来局者応対，服薬指導，患者教育】	15			実務実習事前学習/応用薬学総合演習/薬局管理学/病院・薬局実務実習
	【⑤医薬品の供給と管理】	13			
	【⑥安全管理】	14			
	⑶薬物療法の実践 患者に安全・最適な薬物療法を提供するために，適切に患者情報を収集した上で，状態を正しく評価し，適切な医薬品情報を基に，個々の患者に適した薬物療法を提案・実施・評価できる能力を修得する。		40		
	【①患者情報の把握】	7			実務実習事前学習/臨床薬学総合演習/病院・薬局実務実習
	【②医薬品情報の収集と活用】〔Ｅ３⑴参照〕	6			
	【③処方設計と薬物療法の実践（処方設計と提案）】	14			処方解析学Ⅰ・Ⅱ/実務実習事前学習/臨床薬学総合演習/病院・薬局実務実習
	【④処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】	13			
	⑷チーム医療への参画〔A⑷参照〕 医療機関や地域で，多職種が連携・協力する患者中心のチーム医療に積極的に参画するために，チーム医療における多職種の役割と意義を理解するとともに，情報を共有し，より良い医療の検討，提案と実施ができる。		13		
	【①医療機関におけるチーム医療】	9			実務実習事前学習/臨床薬学総合演習/病院・薬局実務実習
	【②地域におけるチーム医療】	4			
	⑸地域の保健・医療・福祉への参画〔B⑷参照〕 地域での保健・医療・福祉に積極的に貢献できるようになるために，在宅医療，地域保健，福祉，プライマリケア，セルフメディケーションの仕組みと意義を理解するとともに，これらの活動に参加することで，地域住民の健康の回復，維持，向上に関わることができる。		22		
	【①在宅（訪問）医療・介護への参画】	6			薬事関係法規/薬剤師職能論
	【②地域保健（公衆衛生，学校薬剤師，啓発活動）への参画】	4			
	【③プライマリケア，セルフメディケーションの実践】 〔Ｅ２（９）参照〕	9			
	【④災害時医療と薬剤師】	3			

	項　　目	ＳＢＯ数			科目名（主要責任科目）
F　薬学研究 薬学・医療の進歩と改善に資するために，研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を身につける。				13	
	⑴薬学における研究の位置づけ 研究マインドをもって生涯にわたり医療に貢献するために，薬学における研究の位置づけを理解する。		4		卒業特別研究
	⑵研究に必要な法規範と倫理 自らが実施する研究に係る法令，指針を理解し，それらを遵守して研究に取り組む。		3		卒業特別研究
	⑶研究の実践 研究のプロセスを通して，知識や技能を総合的に活用して問題を解決する能力を培う。		6		卒業特別研究
		1070	1070	1070	

Ⅳ　他学部開放科目一覧

1　授業科目表

人文学科部からの開放科目

授業科目	必／選	単位数	履修年次	開講期	授業形態	履修上の注意
古典文学史	選	2	2	前	講義	
近現代文学史	選	2	2	後	講義	
日本語史	選	2	2	後	講義	
言語表現史	選	2	2	後	講義	
身体表現史	選	2	2	後	講義	
古典文学研究１	選	2	2	前	講義	
古典文学研究２	選	2	2	前	講義	
古典文学研究３	選	2	2	後	講義	
近現代文学研究１	選	2	2	前	講義	
近現代文学研究２	選	2	2	前	講義	
近現代文学研究３	選	2	2	前	講義	
日本語研究１	選	2	2	後	講義	
日本語研究２	選	2	2	前	講義	
表現創造研究１	選	2	2	集中	講義	
表現創造研究２	選	2	2	前	講義	
表現創造研究３	選	2	2	集中	講義	
古典文学講義１	選	2	3	後	講義	
古典文学講義２	選	2	3	後	講義	
古典文学講義３	選	2	3	前	講義	
近現代文学講義１	選	2	3	後	講義	
近現代文学講義２	選	2	3	後	講義	
近現代文学講義３	選	2	3	前	講義	
日本語講義１	選	2	3	前	講義	
日本語講義２	選	2	3	後	講義	
表現創造講義１	選	2	3	前	講義	
表現創造講義２	選	2	3	前	講義	
表現創造講義３	選	2	3	後	講義	
表現創造講義４	選	2	3	後	講義	
異文化理解１Ａ～Ｃ	選	2	3	前	講義	
異文化理解２Ａ・Ｂ	選	2	3	後	講義	
イギリス文化研究１	選	2	3	前	講義	
イギリス文化研究２	選	2	3	前	講義	

授業科目	必／選	単位数	履修年次	開講期	授業形態	履修上の注意
イギリス文化研究３	選	2	3	後	講義	
アメリカ文化研究１	選	2	3	前	講義	
アメリカ文化研究２	選	2	3	後	講義	
アメリカ文化研究３	選	2	3	後	講義	
地理学概論	選	2	2	前	講義	
地誌	選	2	2	後	講義	
哲学の世界と歴史	選	2	1	前	講義	
日本人の思想	選	2	1	後	講義	
ヨーロッパ人の思想	選	2	1	後	講義	
アジア人の思想	選	2	1	前	講義	
日本美術史	選	2	1	後	講義	
西洋美術史	選	2	1	前	講義	
東洋美術史	選	2	1	前	講義	
死生観の歴史	選	2	1	前	講義	
倫理と価値観の諸相	選	2	1	前	講義	
歴史人物の生と時代１Ｂ	選	2	1	後	講義	
歴史人物の生と時代２Ｂ	選	2	1	後	講義	
地域史特殊研究２Ａ	選	2	1	前	講義	
地域史特殊研究２Ｂ	選	2	1	後	講義	
地域史特殊研究２Ｃ	選	2	1	後	講義	
地域史特殊研究２Ｄ	選	2	1	前	講義	研修旅行参加が必須
地域史特殊研究２Ｅ	選	2	1	後	講義	研修旅行参加が必須
地域史特殊研究２Ｆ	選	2	1	前	講義	
地域史特殊研究２Ｇ	選	2	1	後	講義	
吉備地方文化特論１	選	2	1	前	講義	
吉備地方文化特論２	選	2	1	後	講義	
吉備地方文化特論３	選	2	1	後	講義	
吉備地方文化特論４	選	2	1	後	講義	
考古学の基礎	選	2	1	前	講義	
考古学の現在	選	2	1	後	講義	
古文書学の基礎	選	2	1	前	講義	
古文書学解読	選	2	1	後	講義	

教育学部からの開放科目一覧

授業科目	必／選	単位数	履修年次	開講期	授業形態	履修上の注意
教育の歴史	選	2	1	前	講義	
現代教育の諸問題	選	2	1	前	講義	
社会福祉Ⅰ	選	2	1	前	講義	
社会福祉Ⅱ	選	2	1	後	講義	
保育者論	選	2	1	後	講義	
保育原理Ⅰ	選	2	1	前	講義	
児童福祉Ⅰ	選	2	1	前	講義	
精神保健	選	2	2	後	講義	社会福祉主事任用資格取得希望者に限る
看護学概論	選	2	1	前	講義	
栄養学	選	2	2	後	講義	
精神医学概論	選	2	3	前	講義	
公衆衛生学	選	2	3	後	講義	

経営学部からの開放科目（2014～2017年度生のみ）

授業科目	必／選	単位数	履修年次	開講期	授業形態	履修上の注意
初級簿記	選	2	1	前	講義	
中級簿記	選	2	2	前	講義	
英文ビジネスプレゼンテーション入門	選	2	1	前	講義	
国際ビジネス入門	選	2	1	前	講義	
商業学入門	選	2	1	後	講義	
農業経済学入門	選	2	1	後	講義	
ホスピタリティ入門	選	2	1	前	講義	
経営史入門	選	2	1	後	講義	
経営戦略論入門	選	2	1	後	講義	
経営哲学入門	選	2	1	後	講義	
金融概論	選	2	1	前	講義	
証券市場論入門	選	2	1	後	講義	

授業科目及び履修方法（2008～2014年度生）

Ⅰ　総合教養教育科目，外国語教育科目 …… 65

Ⅱ　専門教育科目 …… 78

Ⅲ　薬学教育モデル・コアカリキュラム …… 84

Ⅳ　旧コアカリキュラム科目を再履修する場合の新コアカリキュラム科目への読み替え・対応 …… 94

Ⅴ　他学部開放科目一覧 …… 97

Ⅰ　総合教養教育科目，外国語教育科目（2008～2014年度生）

1　授業科目表

⑴　総合教養教育科目（2014年度生）

	授業科目	単位数	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	5年次 前期	5年次 後期	6年次 前期	6年次 後期	授業形態	備考
人文・社会科学	文章表現e	2	○												講義	人文・社会科学から４単位以上履修すること
	文章表現f	2		○											講義	
	口頭表現e	2		○											講義	
	学生生活概論(14～)	2	○												講義	
	こころの健康科学	2		○											講義	
	現代人とこころの障害	2	○												講義	
	漢詩文の表現と心	2	○												講義	
	漢詩文の表現と思想	2		○											講義	
	茶道　1a・b・c（14～）	1	○												演習	
	茶道　2a・b・c（14～）	1		○											演習	
	日本文化論1	2	○												講義	
	日本文化論2	2		○											講義	
	ポピュラー音楽の歴史	2	○												講義	
	日本人の思想	2		○											講義	
	ヨーロッパ人の思想	2		○											講義	
	アジア人の思想	2	○												講義	
	日本美術史	2		○											講義	
	西洋美術史	2	○												講義	
	東洋美術史	2	○												講義	
	死生観の歴史	2	○												講義	
	現代の哲学と思想	2		○											講義	
	人類学の世界と歴史	2	○												講義	
	アジアの民族誌	2		○											講義	
	地理学の世界と歴史	2	○												講義	
	心理学1（心理学の世界と歴史(～12)）	2	○												講義	
	心理学2（現代人のこころと行動(～12)）	2		○											講義	
	発想学(14～)	2		○											講義	
	倫理と価値観の諸相	2	○												講義	
	現代人の倫理と価値観	2		○											講義	
	女性の生活と歴史	2	○												講義	
	現代の女性環境	2		○											講義	
	人権の現代的課題a・b	2		○											講義	
	法学（社会生活と法（～12））	2		○											講義	
	日本国憲法	2	○												講義	
	社会学の世界と歴史	2	○												講義	
	社会学概論A（＝現代社会の諸問題）	2		○											講義	
	社会学概論B（＝医療と生活(～12)）	2	○												講義	
	基礎経済学（経済と生活(～12)）	2	○												講義	
	経済学概論（現代経済論(～12)）	2		○											講義	
	基礎経営論	2	○												講義	

	授業科目	2015年度開設科目名（読替科目）	単位数	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	5年次 前期	5年次 後期	6年次 前期	6年次 後期	授業形態	備考
人文・社会化学	基礎マーケティング論 b		2		○											講義	
	金融システムと生活(14～)		2	○												講義	
	生活に役立つ統計(15･14のみ)		2		○											講義	
	マスメディア論		2	○												講義	
	社会生活と儀礼(14～)		2													講義	
	現代都市の魅力診断		2	○												講義	
	自然地理学		2		○											講義	
自然科学	健康と食品		2	○												講義	
	健康と栄養		2		○											講義	
	化学の世界と歴史		2		○											講義	
	化学と環境問題		2	○												講義	
	生命と自然環境		2		○											講義	
	人体の構造と機能		2	○												講義	
	生命機能のプログラム		2	○												講義	
	生命と生活の化学		2		○											講義	
	病気と環境		2		○											講義	
	いきものと物質		2		○											講義	
	くすりと社会		2	○												講義	
	情報と社会(14～)		2	○												講義	
	情報処理演習 a～c	特別対応	1	●												演習	
	基礎数学	特別対応	2	▲												講義	4単位以上選択必修
	基礎物理学	特別対応	2	▲												講義	4単位以上選択必修
	基礎生物学	特別対応	2	▲												講義	4単位以上選択必修
	基礎化学	特別対応	2	●												講義	
	基礎科学実習		1			●										演習	
スポーツ	スポーツと健康 a･b		2	○												講義	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツと社会		2		○											講義	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツ 1 h･i･j		1	○												実習	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツ 2		1													実習	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツ 3 a･b		1	○												実習	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツ 4 a･b･c		1		○											実習	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	日本事情 1		2	○												講義	外国人留学生帰国子女適用
	日本事情 2		2		○											講義	外国人留学生帰国子女適用
	日本事情 3		2													講義	外国人留学生帰国子女適用
	日本事情 4		2													講義	外国人留学生帰国子女適用
	キャリアデザイン論 A		2	○												講義	
	キャリアデザイン論 B		2		○											講義	
	キャリアデザイン論 C		2		○											講義	

（注１）自然科学の選択必修科目４単位，人文･社会科学，スポーツ，自然科学の選択科目の中から13単位以上（人文･社会科学４単位，スポーツ１単位を含む）を修得すること。（情報処理演習のクラス分けは別途掲示する。）
（注２）上位年次生は，下位の配当年次の科目を履修することができる。ただし，進級の要件となる単位数は19頁で確認すること。
（注３）授業科目名の後のアルファベット（小文字）は，同一授業科目の分割を示す。
（注４）●：必修科目，▲：選択必修科目，○：選択科目

(1) 総合教養教育科目（2013年度生）

	授業科目	単位数	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	5年次 前期	5年次 後期	6年次 前期	6年次 後期	授業形態	備考
人文・社会科学	文章表現e	2													講義	人文・社会科学から4単位以上履修すること
	口頭表現e	2		○											講義	
	こころの健康科学	2		○											講義	
	現代人とこころの障害	2	○												講義	
	漢詩文の表現と心	2	○												講義	
	漢詩文の表現と思想	2		○											講義	
	日本文化論1	2	○												講義	
	日本文化論2	2		○											講義	
	日本人の思想	2		○											講義	
	ヨーロッパ人の思想	2		○											講義	
	アジア人の思想	2		○											講義	
	日本美術史	2		○											講義	
	西洋美術史	2	○												講義	
	東洋美術史	2	○												講義	
	死生観の歴史	2	○												講義	
	現代の哲学と思想	2		○											講義	
	人類学の世界と歴史	2	○												講義	
	アジアの民族誌	2		○											講義	
	地理学の世界と歴史	2	○												講義	
	心理学1(心理学の世界と歴史(～12))	2	○												講義	
	心理学2(現代人のこころと行動(～12))	2		○											講義	
	倫理と価値観の諸相	2	○												講義	
	現代人の倫理と価値観	2		○											講義	
	女性の生活と歴史	2	○												講義	
	現代の女性環境	2		○											講義	
	人権の現代的課題a	2		○											講義	
	法学（社会生活と法（～12)）	2		○											講義	
	日本国憲法a	2	○												講義	
	社会学の世界と歴史	2	○												講義	
	社会学概論(現代社会の諸問題(～12))	2		○											講義	
	基礎経済学(経済と生活(～12))	2	○												講義	
	経済学概論(現代経済論(～12))	2		○											講義	
	基礎経営論	2		○											講義	
	基礎マーケティング論	2		○											講義	
	現代都市の魅力診断	2	○												講義	
	自然地理学	2		○											講義	

授業科目		2015年度開設科目名（読替科目）	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		授業形態	備考
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
自然科学	健康と食品a		2	○												講義	
	健康と栄養a		2		○											講義	
	化学の世界と歴史		2		○											講義	
	化学と環境問題		2	○												講義	
	生命機能のシステム		2													講義	
	生命と自然環境		2		○											講義	
	人体の構造と機能		2	○												講義	
	生命機能のプログラム		2	○												講義	
	生命と生活の化学		2		○											講義	
	病気と環境		2		○											講義	
	いきものと物質		2		○											講義	
	くすりと社会		2	○												講義	
	情報処理演習	特別対応	1	●												演習	
	基礎数学	特別対応	2	▲												講義	4単位以上選択必修
	基礎物理学	特別対応	2	▲												講義	4単位以上選択必修
	基礎生物学	特別対応	2	▲												講義	4単位以上選択必修
	基礎化学	特別対応	2	●												講義	
	基礎科学実習		1			●										演習	
スポーツ	スポーツと健康a・b		2	○												講義	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツと社会		2		○											講義	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツ1 h・i・j		1	○												実習	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツ2		1													実習	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツ3 a・b		1	○												実習	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツ4 a・b・c		1		○											実習	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	日本事情1		2	○												講義	外国人留学生帰国子女適用
	日本事情2		2		○											講義	外国人留学生帰国子女適用
	日本事情3		2													講義	外国人留学生帰国子女適用
	日本事情4		2													講義	外国人留学生帰国子女適用

（注１）自然科学の選択必修科目４単位，人文･社会科学，スポーツ，自然科学の選択科目の中から13単位以上（人文･社会科学４単位，スポーツ１単位を含む）を修得すること。（情報処理演習のクラス分けは別途掲示する。）
（注２）上位年次生は，下位の配当年次の科目を履修することができる。ただし，進級の要件となる単位数は19頁で確認すること。
（注３）授業科目名の後のアルファベット（小文字）は，同一授業科目の分割を示す。
（注４）●：必修科目，▲：選択必修科目，○：選択科目

(1) 総合教養教育科目（2011・2012年度生）

	授業科目	単位数	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	5年次 前期	5年次 後期	6年次 前期	6年次 後期	授業形態	備考
人文・社会科学	文章表現e	2													講義	人文・社会科学から4単位以上履修すること
	口頭表現e	2		○											講義	
	こころの健康科学	2		○											講義	
	現代人とこころの障害	2	○												講義	
	漢詩文の表現と心	2	○												講義	
	漢詩文の表現と思想	2		○											講義	
	日本文化論1	2	○												講義	
	日本文化論2	2		○											講義	
	日本人の思想	2		○											講義	
	ヨーロッパ人の思想	2		○											講義	
	アジア人の思想	2		○											講義	
	日本美術史	2		○											講義	
	西洋美術史	2	○												講義	
	東洋美術史	2	○												講義	
	死生観の歴史	2	○												講義	
	哲学の世界と歴史	2		○											講義	
	現代の哲学と思想	2		○											講義	
	人類学の世界と歴史	2	○												講義	
	アジアの民族誌	2		○											講義	
	地理学の世界と歴史	2	○												講義	
	心理学1(心理学の世界と歴史(～12))	2	○												講義	
	心理学2(現代人のこころと行動 (～12))	2		○											講義	
	倫理と価値観の諸相	2	○												講義	
	現代人の倫理と価値観	2		○											講義	
	女性の生活と歴史	2	○												講義	
	現代の女性環境	2		○											講義	
	人権の現代的課題a	2		○											講義	
	法学（社会生活と法（～12))	2		○											講義	
	日本国憲法a	2	○												講義	
	社会学の世界と歴史	2	○												講義	
	社会学概論(現代社会の諸問題(～12))	2		○											講義	
	基礎経済学(経済と生活(～12))	2	○												講義	
	経済学概論(現代経済論(～12))	2		○											講義	
	現代都市の魅力診断	2	○												講義	
	地誌	2		○											講義	
	自然地理学	2		○											講義	
	地理学概論	2													講義	

授業科目		2015年度開設科目名（読替科目）	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		授業形態	備考
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
自然科学	健康と食品a・b		2	○												講義	
	健康と栄養a・b		2		○											講義	
	化学の世界と歴史		2		○											講義	
	化学と環境問題		2	○												講義	
	生命機能のシステム		2													講義	
	生命と自然環境		2		○											講義	
	人体の構造と機能		2	○												講義	
	生命機能のプログラム		2	○												講義	
	生命と生活の化学		2		○											講義	
	病気と環境		2		○											講義	
	いきものと物質		2		○											講義	
	くすりと社会		2	○												講義	
	情報処理演習a～c	特別対応	1	●												演習	
	基礎数学	特別対応	2	▲												講義	4単位以上選択必修
	基礎物理学	特別対応	2	▲												講義	4単位以上選択必修
	基礎生物学	特別対応	2	▲												講義	4単位以上選択必修
	基礎化学	特別対応	2	●												講義	
	基礎科学実習		1			●										演習	
スポーツ	スポーツと健康a・b		2	○												講義	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツと社会		2		○											講義	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツ1 h・i・j		1	○												実習	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツ2		1													実習	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツ3 a・b		1	○												実習	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	スポーツ4 a・b・c		1		○											実習	スポーツから1単位以上履修すること（人文クラス指定）
	日本事情1		2	○												講義	外国人留学生帰国子女適用
	日本事情2		2		○											講義	外国人留学生帰国子女適用
	日本事情3		2													講義	外国人留学生帰国子女適用
	日本事情4		2													講義	外国人留学生帰国子女適用

（注１）自然科学の選択必修科目４単位，人文･社会科学，スポーツ，自然科学の選択科目の中から13単位以上（人文･社会科学４単位，スポーツ１単位を含む）を修得すること。（情報処理演習のクラス分けは別途掲示する。）
（注２）上位年次生は，下位の配当年次の科目を履修することができる。ただし，進級の要件となる単位数は19頁で確認すること。
（注３）授業科目名の後のアルファベット（小文字）は，同一授業科目の分割を示す。
（注４）●：必修科目，▲：選択必修科目，○：選択科目

(1) 総合教養教育科目（2008・2009・2010年度生）

	授業科目	単位数	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	5年次 前期	5年次 後期	6年次 前期	6年次 後期	授業形態	備考
人文・社会科学	文章表現e	2													講義	人文・社会科学から4単位以上履修すること
	口頭表現e	2		○											講義	
	現代教育の諸問題	2													講義	
	人権の現代的課題a	2		○											講義	
	社会生活と法	2		○											講義	
	日本国憲法a	2	○												講義	
	現代教育の諸問題	2		○											講義	
	社会学の世界と歴史	2	○												講義	
	社会学概論(現代社会の諸問題(～12))	2		○											講義	
	現代経済論	2		○											講義	
	経済と生活	2	○												講義	
	日本文化論1	2	○												講義	
	宗教と文化	2													講義	
	死生観の歴史	2	○												講義	
	哲学の世界と歴史	2	○												講義	
	現代の哲学と思想	2		○											講義	
	人類学の世界と歴史	2	○												講義	
	現代人のこころと行動	2		○											講義	
	現代人の倫理と価値観	2		○											講義	
	倫理と価値観の諸相	2	○												講義	
	心理学の世界と歴史	2	○												講義	
	こころの健康科学	2		○											講義	
	現代人とこころの障害	2	○												講義	
	日本事情1	2	○												講義	外国人留学生帰国子女適用
	日本事情2	2		○											講義	外国人留学生帰国子女適用
	日本事情3	2													講義	外国人留学生帰国子女適用
	日本事情4	2													講義	外国人留学生帰国子女適用
スポーツ	スポーツと健康a・b	2	○												講義	スポーツから1単位以上履修すること
	スポーツと社会	2		○											講義	
	スポーツ1 h・i・j	1	○												実習	
	スポーツ2	1													実習	（人文クラス指定）

	授業科目	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		授業形態	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
自然科学	健康と食品a	2	○												講義	
	健康と栄養a	2		○											講義	
	化学の世界と歴史	2		○											講義	
	化学と環境問題	2	○												講義	
	生命と自然環境	2		○											講義	
	生命機能のシステム	2													講義	
	生命機能のプログラム	2	○												講義	
	人体の構造と機能	2	○												講義	
	生命と生活の化学	2		○											講義	
	病気と環境	2		○											講義	
	いきものと物質	2		○											講義	
	くすりと社会	2	○												講義	
	情報処理演習a～c	1	●												演習	
	基礎数学	2	▲												講義	4単位以上選択必修
	基礎物理学	2	▲												講義	4単位以上選択必修
	基礎生物学	2	▲												講義	4単位以上選択必修
	基礎化学	2	●												講義	
	基礎科学実習	1			●										演習	

（注１）自然科学の選択必修科目４単位，人文･社会科学，スポーツ，自然科学の選択科目の中から13単位以上を修得すること。
（情報処理演習のクラス分けは別途掲示する。）
（注２）上位年次生は，下位の配当年次の科目を履修することができる。ただし，進級の要件となる単位数は20頁で確認すること。
（注３）授業科目名の後のアルファベット（小文字）は，同一授業科目の分割を示す。
（注４）●：必修科目，▲：選択必修科目，○：選択科目

＜就実大学教養教育の目標＞

教養カリキュラムポリシー

グローバル社会で活躍できるように学問の裾野を広げ，様々な角度から物事を見ることのできる能力，自主的，総合的に考え，適確に判断する能力ならびに豊かな人間性を養い，自分の知識や人生を社会との関係で位置づけることのできる人材を育てる。

⑴　関心・意欲・態度を身につける

①　違った価値観や伝統，制度を持った異文化の相互関係を知り，深い認識を持つ。

②　人間や社会，自然，環境について深い関心を持ち，豊かな感受性を身につける。

③　自らの洞察を深め，生涯にわたって自己研鑽に努める態度を身につける。

④　高い倫理観と責任感を持ち，他者と協力して仕事を進める意欲・態度を養う。

⑵　知識・理解力を深め，思考・判断力を身につける

⑤　幅広い領域の知識を理解して，専門分野での学修に必要な基礎的知識と複合的な視点を持つ。

⑥　現代社会に関して多面的な知識・理解を持ち，体系的に考え，自らの見解を形成する。

⑦　健康で文化的な生活を営むために必要な知識と方法を修得し，自らの生活の質を高める。

⑧　学修の成果を評価・判断し，自らの生活や社会に還元する柔軟な発想力を身につける。

⑶　技能・表現力を身につける

⑨　日常生活に必要な，聞く・話す・読む・書く力を修得し，正確な意思の疎通を図る。

⑩　少なくとも一つの外国語を用いて，基礎的なコミュニケーションを行う。

⑪　情報及び情報手段を選択し，適切に活用するための基礎的な知識・技能を身につける。

⑫　知識・技能・情報を活用して，自ら構想・創造・表現する力を身につける。

4　総合教養教育科目カリキュラムマップ

		授業科目	教養教育の目標											
			関心･意欲･態度				知識・理解力，思考・判断力				技能・表現力			
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
主題科目	現代社会を生きる	現代都市の魅力診断	○	○				○						○
		金融システムと生活	○					○						
		情報と社会		○				○					○	
		社会生活と儀礼												
		生活に役立つ統計		○				○					○	
	グローバルな社会で活躍する	人類学の世界と歴史	○					○						○
		アジアの民族誌	○					○						○
		地理学の世界と歴史	○	○			○	○		○				
	いのちと健康を考える	こころの健康科学			○				○					○
		現代人とこころの障害		○				○	○					
		現代の哲学と思想												
		病気と環境		○			○		○					○
		スポーツと健康			○			○	○					
主題科目	人生とキャリアデザイン	キャリアデザイン論			○			○			○			
		社会学概論		○				○		○				
		基礎経営論（お金と生活）			○					○		○		
		マスメディア論			○			○					○	
		学生生活概論				○			○		○			
	豊かな感性を育む	茶道 1，2		○	○				○					○
		ポピュラー音楽の歴史		○				○	○					
		発想学(アイデアの生み出し方)			○			○						○
		スポーツと社会		○					○		○			
一般教養科目	人文科学系科目	心理学１		○	○									
		心理学２		○	○				○					
		現代人の倫理と価値観		○	○									
		日本文化論 １	○	○				○						
		日本文化論 ２	○				○				○			
		女性の生活と歴史	○											
		漢詩文の表現と心	○	○										
		漢詩文の表現と思想	○		○									
		文章表現			○						○			○
		口頭表現			○			○						○

		授業科目	教養教育の目標											
			関心･意欲･態度				知識・理解力，思考・判断力				技能・表現力			
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
一般教養科目	社会科学系科目	人権の現代的課題		○		○		○						
		法学				○		○	○					
		日本国憲法	○			○		○						
		社会学の世界と歴史		○				○		○				
		基礎経済学			○			○						○
		経済学概論			○			○						○
		基礎会計学			○		○						○	
		現代の女性環境	○					○	○					
		自然地理学	○	○			○							
		現代日本の企業						○		○			○	
		基礎マーケティング論			○					○		○		
	自然科学系科目	健康と食品			○				○	○				
		健康と栄養			○				○	○				
		化学の世界と歴史		○			○		○					
		化学と環境問題		○			○		○					
		人体の構造と機能		○			○		○					
		生命機能のプログラム		○			○		○					
	自然科学系科目	生命と自然環境		○					○				○	
		生命と生活の化学		○					○				○	
		いきものと物質		○		○			○					
		くすりと社会					○	○	○					
	スポーツ科目	スポーツ１				○			○					○
		スポーツ２				○			○					○
		スポーツ３				○			○					○
		スポーツ４				○			○					○
	情報科目	コンピューターリテラシー											○	
		情報と表現								○			○	○
		情報と文化					○		○				○	
		情報処理演習１			○				○				○	
		情報処理演習２											○	○
	資格関連科目	教職論（=教師論）				○	○	○						
		教育学概論		○			○	○						
		教育心理学		○			○	○						
		学校制度論				○	○	○						
		博物館概論		○				○					○	
		生涯学習概論Ⅰ					○	○	○					
		図書館概論			○			○					○	

		授　業　科　目	教養教育の目標											
			関心･意欲･態度				知識・理解力，思考・判断力				技能・表現力			
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
一般教養科目	導入科目・技能科目・その他	書道 1			○		○							○
		書道 2			○		○							○
		インターンシップ1			○	○								
		インターンシップ2			○	○								
		漢字検定 1			○									
		漢字検定 2			○						○			
		異文化コミュニケーション 1		○	○						○	○		
		異文化コミュニケーション 2		○	○							○		
		異文化コミュニケーション 3		○	○							○		
		異文化コミュニケーション 4		○	○							○		
		日本事情1	○								○		○	
		日本事情2	○								○		○	
		日本事情3	○								○		○	
		日本事情4	○								○		○	

(2) 外国語教育科目（2008～2014年度生）

	授業科目	単位数	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	5年次 前期	5年次 後期	6年次 前期	6年次 後期	授業形態	備考	
外国語	Oral Communication Ⅰ f～h	1	○												演習	3クラス	英語を6単位履修すること
	Oral Communication Ⅱ f～h	1		○											演習	3クラス	
	English Composition Ⅰ f～h	1	○												演習	3クラス	
	English Composition Ⅱ f～h	1		○											演習	3クラス	
	English Reading Ⅰ f～h	1	○												演習	3クラス	
	English Reading Ⅱ f～h	1		○											演習	3クラス	
	フランス語文法入門1 c	1	○												演習		
	フランス語文法入門2	1													演習	（人文クラス指定）	
	フランス語講読入門1	1													演習	（人文クラス指定）	
	フランス語講読入門2 c	1		○											演習		
	ドイツ語文法入門1	1	○												演習		
	ドイツ語文法入門2	1		○											演習		
	ドイツ語講読入門1	1	○												演習		
	ドイツ語講読入門2	1		○											演習		
	中国語文法入門1 c	1	○												演習		
	中国語文法入門2	1													演習	（人文クラス指定）	
	中国語講読入門1	1													演習	（人文クラス指定）	
	中国語講読入門2 c	1		○											演習		
	ハングル文法入門1 c	1	○												演習		
	ハングル文法入門2	1													演習	（人文クラス指定）	
	ハングル講読入門1	1													演習	（人文クラス指定）	
	ハングル講読入門2 c	1		○											演習		
	日本語1	1	○												演習	外国人留学生帰国子女適用	
	日本語2	1		○											演習	外国人留学生帰国子女適用	
	日本語3	1	○												演習	外国人留学生帰国子女適用	
	日本語4	1		○											演習	外国人留学生帰国子女適用	

（注1）外国語は6単位以上を修得すること。（英語のクラス分けは別途掲示する。）
（注2）進級の要件となる単位数は19・20頁で確認すること。
（注3）授業科目名の後のアルファベット（小文字）は，同一授業科目の分割を示す。
（注4）○：選択科目

Ⅱ　専門教育科目（2008～2014年度生）

	授業科目	2015年度開設科目名（読替科目）	単位数	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	5年次 前期	5年次 後期	6年次 前期	6年次 後期	授業形態	備考
薬学導入・総合科目	薬学への招待	薬学への招待	2	●												講義	
	教養対話演習	サイエンスコミュニケーション	1		●											演習	
	薬学対話演習		1						●							演習	
	基礎薬学総合演習		1						●							演習	
	応用薬学総合演習		1							●						演習	
	医療倫理学	医療倫理学	1		▲											講義	3単位以上選択必修
	基礎薬学英語		1				▲									演習	3単位以上選択必修
	医療薬学英語 a～d		1					▲								演習	3単位以上選択必修
	看護学概論		1							▲						講義	3単位以上選択必修
	卒業特別講義 a		6											●	●	講義	
	卒業特別講義 b		6											●		講義	
物理系薬学	分子の構造と化学結合	特別対応	2		▲											講義	11単位以上選択必修
	溶液の性質と化学反応速度論		2			▲										講義	11単位以上選択必修
	熱力学と物理平衡		2				▲									講義	11単位以上選択必修
	化学平衡	特別対応	2	▲												講義	11単位以上選択必修
	化学物質の検出と定量	医薬品分析化学	2		▲											講義	11単位以上選択必修
	分析技術の臨床応用		2			▲										講義	11単位以上選択必修
	物理系薬学演習		1				▲									演習	11単位以上選択必修
化学系薬学	薬化学	特別対応	2		▲											講義	16単位以上選択必修
	有機構造解析学		2			▲										講義	16単位以上選択必修
	有機薬化学Ⅰ（基礎有機化学）		2			▲										講義	16単位以上選択必修
	有機薬化学Ⅱ（反応有機化学）		2				▲									講義	16単位以上選択必修
	有機薬化学Ⅲ（応用有機化学）		2					▲								講義	16単位以上選択必修
	医薬品化学		2						▲							講義	16単位以上選択必修
	天然物化学	特別対応	2		▲											講義	16単位以上選択必修
	薬用植物学		1			▲										講義	16単位以上選択必修
	生薬学Ⅰ（生薬成分化学）		2				▲									講義	16単位以上選択必修
	生薬学Ⅱ（応用生薬学）		1					▲								講義	16単位以上選択必修
生化学系	生化学Ⅰ（細胞の生化学）	特別対応	2		▲											講義	10単位以上選択必修
	生化学Ⅱ（構造と触媒作用）		2			▲										講義	10単位以上選択必修
	生化学Ⅲ（生体エネルギーと代謝）		2				▲									講義	10単位以上選択必修
	生体情報化学		2				▲									講義	10単位以上選択必修
	基礎免疫学		2			▲										講義	10単位以上選択必修
	臨床免疫学		2				▲									講義	10単位以上選択必修

	授業科目	単位数	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	5年次 前期	5年次 後期	6年次 前期	6年次 後期	授業形態	備考
分子生物学系	微生物薬品化学	2					▲								講義	11単位以上 選択必修
	臨床微生物学	2							▲						講義	
	感染症予防学	1								▲					講義	
	放射薬品化学	2			▲										講義	
	遺伝子工学	1					▲								講義	
	分子生物学Ⅰ（分子生物学の基礎）	2			▲										講義	
	分子生物学Ⅱ（分子生物学の応用）	2				▲									講義	
	分子生物学Ⅲ（バイオ医薬品）	1					▲								講義	
衛生薬学	衛生化学Ⅰ（栄養化学）	2					▲								講義	10単位以上 選択必修
	衛生化学Ⅱ（食品衛生学）	1						▲							講義	
	公衆衛生学	2					▲								講義	
	健康化学	1						▲							講義	
	環境毒性学	2							▲						講義	
	環境衛生学	2								▲					講義	
	地球環境学	1					▲								講義	
医療系薬学1	薬理学Ⅰ（分子薬理学）	2				▲									講義	18単位以上 選択必修
	薬理学Ⅱ（細胞薬理学）	2					▲								講義	
	薬理学Ⅲ（薬効解析学）	2						▲							講義	
	薬理学Ⅳ（応用薬理学）	2							▲						講義	
	薬物治療学Ⅰ（概論および疾患別各論Ⅰ）	2						▲							講義	
	薬物治療学Ⅱ（疾患別各論Ⅱ）	2							▲						講義	
	薬物治療学Ⅲ（疾患別各論Ⅲ）	2								▲					講義	
	人体構成学Ⅰ（解剖生理）	2			▲										講義	
	人体構成学Ⅱ（生理機能の連携）	2				▲									講義	
	病態生理学Ⅰ（症候論）	2					▲								講義	
	病態生理学Ⅱ（疾患論）	2						▲							講義	
医療系薬学2	物理薬剤学	2					▲								講義	16単位以上 選択必修
	生物薬剤学	2						▲							講義	
	薬物動態学	2						▲							講義	
	製剤学	2							▲						講義	

	授業科目	単位数	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	5年次 前期	5年次 後期	6年次 前期	6年次 後期	授業形態	備考
医療系薬学2	製剤機能論	2								▲					講義	16単位以上 選択必修
	日本薬局方概論	2					▲								講義	
	薬物代謝学	2						▲							講義	
	医薬品安全性学	2							▲						講義	
	薬事関係法規	2							▲						講義	
	新薬開発論	2								▲					講義	
臨床系薬学	医療統計学	2					▲								講義	12単位以上 選択必修
	医薬品情報学	2						▲							講義	
	薬局管理学	1					▲								講義	
	調剤学	2						▲							講義	
	医療薬学	2							▲						講義	
	薬剤師職能論	1								▲					講義	
	処方解析学Ⅰ	2							▲						講義	
	処方解析学Ⅱ	2								▲					講義	
アドバンスト科目	病態と薬物治療	1													講義	8単位以上 選択必修
	チーム医療	1													講義	
	医療現場における最先端分析技術	1									○				講義	
	創薬化学	1									○				講義	
	細胞生物学	1										○			講義	
	ゲノム機能学	1										○			講義	
	医療化学	1										○			講義	
	臨床栄養学	1													講義	
	未病薬学	1										○			講義	
	環境遺伝学	1										○			講義	
	免疫薬理学	1										○			講義	
	精神神経科学	1										○			講義	
	症例検討／ＣＰＣ	1										○			講義	
	薬剤経済学	1													講義	
	臨床動態学	1										○			講義	
	香粧品科学	1										○			講義	
	専門薬剤師概論Ⅰ	1									○				講義	
	専門薬剤師概論Ⅱ	1									○				講義	
	薬剤管理指導概論	1									○				講義	
	医薬品等評価学	1									○				講義	
	漢方薬学	1									○				講義	
	薬学海外研修	2									○				実習	

	授業科目	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		授業形態	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
薬学実習	物理系薬学実習（分析・物理化学実習）	1			●										実習	
	化学系薬学実習（有機化学・生薬学実習）	1			●										実習	
	生物系薬学実習Ⅰ（生化学・免疫学実習ＲＩ実習を含む）	2				●									実習	
	生物系薬学実習Ⅱ（遺伝子・微生物学実習）	1						●							実習	
	衛生薬学実習	1						●							実習	
	医療系薬学実習Ⅰ（薬理・病態生理系実習）	2							●						実習	
	医療系薬学実習Ⅱ（薬剤学実習）	1							●						実習	
	実務実習事前学習	2								●					実習	
	病院・薬局実務実習	20									●	●			実習	
	卒業論文実習	5									●				実習	

（注１）選択必修科目の中から107単位を，選択科目の中から８単位以上を修得すること。
（注２）基礎薬学英語，医療薬学英語のクラス分けは別途掲示する。
（注３）上位年次生は，下位の配当年次の科目を履修することができる。ただし，必修科目は配当された年次で履修すること。
（注４）授業科目名の後のアルファベット（小文字）は，同一授業科目の分割を示す。
（注５）●：必修科目，▲：選択必修科目，○：選択科目

専門教育科目シラバスには，薬学教育モデル・コアカリキュラムの到達目標（SBO）が科目ごとに記載され，コアカリキュラムとの対応が明示されている。

医療人としての基本的教育は，１年次から６年次までの全学年を通じて以下のとおり行われる。

１年次　「薬学への招待」等を通じて，薬学人の関心を持たせ，その中で生命の尊さならびに医療の倫理を学習させる。そのために医療現場の早期体験学習及びそれに伴うSGD，PBL学習，さらに「教養対話演習」等を通じて，薬学としての素質を養う。

２年次　実習科目による実験室における体験学習及び，各種講義科目（基礎・応用）におけるe-learning等を用いた教育実践。なお上記教育は１-４年にわたって行われる。

３年次　「薬学対話演習」等を通じて，応用薬学教育を実践。薬学対話演習においては，１対１のロールプレイとそれに関連するSGD等。

４年次　対患者を意識した「看護学概論」や，これまでの教育を基にした「実務実習事前学習」における総合的な学内医療人教育の実践。

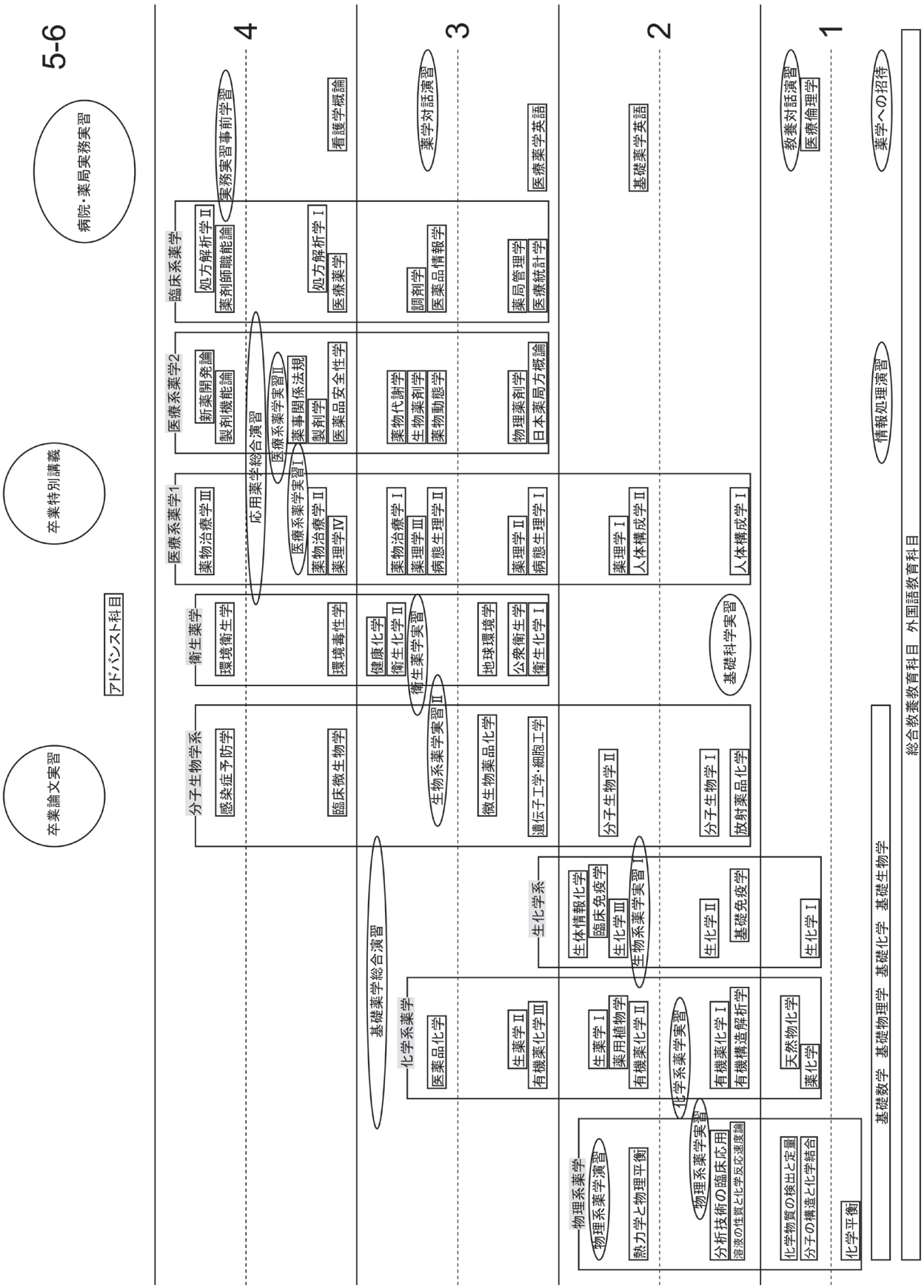
5-6年次　「病院・薬局実務実習」と「卒業論文実習」により，卒前医療人教育の完成。

５年次に開講される以下のアドバンスト科目は，モデル・コアカリキュラムにとらわれない本学独自の専門教育科目である。

アドバンスト科目：病態と薬物治療・チーム医療・医療現場における最先端分析技術・創薬化学・細胞生物学・ゲノム機能学・医療化学・臨床栄養学・未病薬学・環境遺伝学・免疫薬理学・精神神経科学・症例検討／ＣＰＣ・薬剤経済学・臨床動態学・香粧品科学・専門薬剤師概論Ⅰ・専門薬剤師概論Ⅱ・薬剤管理指導概論・医薬品等評価学・漢方薬学・薬学海外研修

問題解決能力の醸成のため，演習，実習等を全学年を通じて以下のとおり配置している。

１年次　薬学への招待
↓
教養対話演習　　基礎科学実習，物理系薬学実習
↓
２年次　↓　　化学系薬学実習，生物系薬学実習I
↓
３年次　薬学対話演習　　生物系薬学実習Ⅱ，衛生薬学実習
↓　　↓
４年次　実務実習事前学習　　医療系薬学実習Ⅰ，医療系薬学実習Ⅱ
↓　　↓
5-6年次　　病院・薬局実務実習，卒業論文実習


5-6
病院・薬局実務実習
卒業特別講義
アドバンスト科目
卒業論文実習
4
3
2
1
臨床系薬学
実務実習事前学習
処方解析学Ⅱ
薬剤師職能論
処方解析学Ⅰ
医療薬学
看護学概論
薬学対話演習
調剤学
医薬品情報学
薬局管理学
医療統計学
医療薬学英語
基礎薬学英語
教養対話演習
医療倫理学
薬学への招待
医療系薬学2
新薬開発論
製剤機能論
医療系薬学実習Ⅱ
薬事関係法規
製剤学
医薬品安全性学
薬物代謝学
生物薬剤学
薬物動態学
物理薬剤学
日本薬局方概論
情報処理演習
応用薬学総合演習
医療系薬学1
薬物治療学Ⅲ
医療系薬学実習Ⅰ
薬物治療学Ⅱ
薬理学Ⅳ
薬物治療学Ⅰ
薬理学Ⅲ
病態生理学Ⅱ
薬理学Ⅱ
病態生理学Ⅰ
薬理学Ⅰ
人体構成学Ⅱ
人体構成学Ⅰ
衛生薬学
環境衛生学
環境毒性学
健康化学
衛生化学Ⅱ
衛生薬学実習Ⅱ
地球環境学
公衆衛生学
衛生化学Ⅰ
基礎科学実習
分子生物学系
感染症予防学
臨床微生物学
生物系薬学実習Ⅱ
微生物薬品化学
遺伝子工学・細胞工学
分子生物学Ⅱ
分子生物学Ⅰ
放射薬品化学
基礎薬学総合演習
生化学系
生体情報化学
臨床免疫学
生化学Ⅲ
生物系薬学実習Ⅰ
生化学Ⅱ
基礎免疫学
生化学Ⅰ
化学系薬学
医薬品化学
生薬学Ⅱ
有機薬化学Ⅲ
生薬学Ⅰ
薬用植物学
有機薬化学Ⅱ
化学系薬学実習
有機薬化学Ⅰ
有機構造解析学
天然物化学
薬化学
物理系薬学
物理系薬学演習
熱力学と物理平衡
物理系薬学実習
分析技術の臨床応用
溶液の性質と化学反応速度論
化学物質の検出と定量
分子の構造と化学結合
化学平衡
基礎数学　基礎物理学　基礎化学　基礎生物学
総合教養教育科目　外国語教育科目

専門

Ⅲ　薬学教育モデル・コアカリキュラム

A．全学年を通じて：ヒューマニズムについて学ぶ

(1)生と死
(2)医療の担い手としての心構え
(3)信頼関係の確立を目指して

B．イントロダクション

(1)薬学への招待
(2)早期体験学習

F．薬学準備教育ガイドライン

(1)人と文化
(2)薬学英語入門
(3)薬学の基礎としての物理
(4)薬学の基礎としての化学
(5)薬学の基礎としての生物
(6)薬学の基礎としての数学・統計
(7)ＩＴ
(8)プレゼンテーション

C．薬学専門教育

〔物理系薬学を学ぶ〕

Ｃ１物質の物理的性質
(1)物質の構造
(2)物質の状態Ⅰ
(3)物質の状態Ⅱ
(4)物質の変化

Ｃ２化学物質の分析
(1)化学平衡
(2)化学物質の検出と定量
(3)分析技術の臨床応用

Ｃ３生体分子の姿・かたちをとらえる
(1)生体分子を解析する手法
(2)生体分子の立体構造と相互作用

〔化学系薬学を学ぶ〕

Ｃ４化学物質の性質と反応
(1)化学物質の基本的性質
(2)有機化合物の骨格
(3)官能基
(4)化学物質の構造決定

Ｃ５ターゲット分子の合成
(1)官能基の導入・変換
(2)複雑な化合物の合成

Ｃ６生体分子・医薬品を化学で理解する
(1)生体分子のコアとパーツ
(2)医薬品のコアとパーツ

Ｃ７自然が生み出す薬物
(1)薬になる動植鉱物
(2)薬の宝庫としての天然物
(3)現代医薬の中の生薬・漢方薬

〔生物系薬学を学ぶ〕

Ｃ８生命体の成り立ち
(1)ヒトの成り立ち
(2)生命体の基本単位としての細胞
(3)生体の機能調節
(4)小さな生き物たち

Ｃ９生命をミクロで理解する
(1)細胞を構成する分子
(2)生命情報を担う遺伝子
(3)生命活動を担うタンパク質
(4)生体エネルギー
(5)生理活性分子とシグナル分子
(6)遺伝子を操作する

Ｃ10生体防御
(1)身体をまもる
(2)免疫系の破綻・免疫系の応用
(3)感染症にかかる

〔健康と環境〕

Ｃ11健康
(1)栄養と健康
(2)社会・集団と健康
(3)疾病の予防

Ｃ12環境
(1)化学物質の生体への影響
(2)生活環境と健康

〔薬と疾患〕

Ｃ13薬の効くプロセス
(1)薬の作用と生体内運命
(2)薬の効き方Ⅰ
(3)薬の効き方Ⅱ
(4)薬物の臓器への到達と消失
(5)薬物動態の解析

Ｃ14薬物治療
(1)体の変化を知る（疾病と検査値）
(2)疾患と薬物治療（心臓疾患等）
(3)疾患と薬物治療（腎臓疾患等）
(4)疾患と薬物治療（精神疾患等）
(5)病原微生物・悪性新生物と戦う

Ｃ15薬物治療に役立つ情報
(1)医薬品情報
(2)患者情報
(3)テーラーメイド薬物治療を目指して

〔医薬品をつくる〕

Ｃ16製剤化のサイエンス
(1)製剤材料の性質
(2)剤形をつくる
(3)DDS（Drug Delivery System：薬物送達システム）

Ｃ17医薬品の開発と生産
(1)医薬品の開発と生産のながれ
(2)リード化合物の創製と最適化
(3)バイオ医薬品とゲノム情報
(4)治験・薬害
(5)バイオスタティスティスク

〔薬学と社会〕

Ｃ18薬学と社会
(1)薬剤師を取り巻く法律と制度
(2)社会保障制度と薬剤経済
(3)コミュニティーファーマシー

D．実務実習教育

〔病院・薬局薬剤師〕

Ｄ１病院薬局に行く前に
(1)処方せんと調剤
(2)疑義照会
(3)薬品の管理と供給
(4)リスクマネージメント
(5)服用説明と患者接遇

Ｄ２病院・薬局で学ぶ
(1)全実習期間を通して身につける
(2)薬剤師の業務（病院）
(3)薬剤師の業務（薬局）

E．卒業実習教育

〔問題解決能力の醸成〕

Ｅ１総合薬学研究
(1)研究活動に求められる態度
(2)研究活動に学ぶ
(3)未知との遭遇

Ｅ２総合薬学演習

G．薬学アドバンスト教育ガイドライン

(1)実用薬学英語
(2)グローバリゼーション
(3)定量的構造活性相関
(4)マーケティング
(5)医薬品の製造プロセス
(6)ゲノム情報の利用を目指して
(7)企業インターンシップ

2008～2014年度生用

薬学教育モデル・コアカリキュラム対応科目一覧

◎　本学では，薬学教育モデル・コアカリキュラムに対応した科目を配当しています。

一般目標（ＧＩＯ）	科　目　名
A　全学年を通して：ヒューマニズムについて学ぶ 生命に関わる職業人となることを自覚し，それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために，人との共感的態度を身に付け，信頼関係を醸成し，さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。	
(1)　生と死 生命の尊さを認識し，人の誕生から死までの間に起こりうる様々な問題を通して医療における倫理の重要性を学ぶ。	医療倫理学
(2)　医療の担い手としてのこころ構え 常に社会に目を向け，生涯にわたって医療を通して社会に貢献できるようになるために必要なこころ構えを身につける。	医療倫理学 看護学概論
(3)　信頼関係の確立を目指して 医療の担い手の一員である薬学専門家として，患者，同僚，地域社会との信頼関係を確立できるようになるために，相手の心理，立場，環境を理解するための基本的知識，技能，態度を修得する。	看護学概論 教養対話演習
B　イントロダクション 薬学生としてのモチベーションを高めるために，薬の専門家として身につけるべき基本的知識，技能，態度を修得し，卒業生の活躍する現場などを体験する。	
(1)　薬学への招待 薬の専門家として必要な基本姿勢を身につけるために，医療，社会における薬学の役割，薬剤師の使命を知り，どのように薬学が発展してきたかを理解する。	薬学への招待 日本薬局方概論
(2)　早体験学習 薬学生として学習に対するモチベーションを高めるために，卒業生の活躍する現場などを体験する。	薬学への招待
C　薬学専門教育	
【物理系薬学を学ぶ】	
C１　物質の物理的性質 化学物質の基本的性質を理解するために，原子・分子の構造，熱力学，反応速度論などの基本的知識を修得し，それらを応用する技能を身につける。	
(1)　物質の構造 物質を構成する基本単位である原子および分子の性質を理解するために，原子構造，分子構造および化学結合に関する基本的知識と技能を修得する。	分子の構造と化学結合 薬化学 放射薬品化学 物理系薬学演習 物理系薬学実習
(2)　物質の状態Ⅰ 物質の状態および相互変換過程を解析できるようになるために，熱力学の基本的知識と技能を修得する。	熱力学と物理平衡 物理系薬学演習 物理系薬学実習
(3)　物質の状態Ⅱ 複雑な系における物質の状態および相互変換過程を熱力学に基づき解析できるようになるために，溶液および電気化学に関する基本的知識と技能を修得する。	溶液の性質と化学反応速度論 物理系薬学演習 物理系薬学実習
(4)　物質の変化 物質の変換過程を理解するために，化学反応速度論，および反応速度に影響を与える諸因子に関する基本的知識と技能を修得する。	溶液の性質と化学反応速度論 物理系薬学演習 物理系薬学実習

Ｃ２化学物質の分析 化学物質（医薬品を含む）をその性質に基づいて分析できるようになるために，物質の定性，定量などに必要な基本的知識と技能を修得する。	
⑴　化学平衡 水溶液中での物質の性質を理解するために，各種の化学平衡に関する基本的知識と技能を修得する。	化学平衡 物理系薬学演習 物理系薬学実習
⑵　化学物質の検出と定量 試料中に存在する物質の種類および濃度を正確に知るために，代表的な医薬品，その他の化学物質の定性・定量法を含む各種の分離分析法の基本的知識と技能を修得する。	化学物質の検出と定量 物理系薬学演習 物理系薬学実習
⑶　分析技術の臨床応用 薬学研究や臨床現場で分析技術を適切に応用するために，代表的な分析法の基本的知識と技能を修得する。	分析技術の臨床応用 物理系薬学演習 物理系薬学実習
Ｃ３　生体分子の姿・かたちをとらえる 生体の機能や医薬品の働きが三次元的な相互作用によって支配されていることを理解するために，生体分子の立体構造，生体分子が関与する相互作用，およびそれらを解析する手法に関する基本的知識と技能を修得する。	
⑴　生体分子を解析する手法 生体分子，化学物質の姿，かたちをとらえるために，それらの解析に必要な方法に関する基本的知識と技能を修得する。	有機構造解析学
⑵　生体分子の立体構造と相互作用 生体分子の機能および医薬品の働きを立体的，動的にとらえるために，タンパク質，核酸および脂質などの立体構造やそれらの相互作用に関する基本的知識を修得する。	生化学Ⅰ 分子生物学Ⅰ
【化学系薬学を学ぶ】	
Ｃ４　化学物質の性質と反応 化学物質（医薬品および生体物質を含む）の基本的な反応性を理解するために，代表的な反応，分離法，構造決定法などについての基本的知識と，それらを実施するための基本的技能を修得する。	
⑴　化学物質の基本的性質 基本的な無機および有機化合物の構造，物性，反応性を理解するために，電子配置，電子密度，化学結合の性質などに関する基本的知識を修得する。	薬化学 有機薬化学Ⅰ 有機薬化学Ⅱ 化学系薬学実習
⑵　有機化合物の骨格 脂肪族および芳香族炭化水素の性質を理解するために，それぞれの基本構造，物理的性質，反応性に関する基本的知識を修得する。	有機薬化学Ⅰ 有機薬化学Ⅱ 化学系薬学実習
⑶　官能基 官能基が有機化合物に与える効果を理解するために，カルボニル基，アミノ基などの官能基を有する有機化合物について，反応性およびその他の性質に関する基本的知識を修得し，それらを応用するための基本的技能を身につける。	有機薬化学Ⅰ 有機薬化学Ⅱ 有機薬化学Ⅲ 化学系薬学実習
⑷　化学物質の構造決定 基本的な化学物質の構造決定ができるようになるために，核磁気共鳴（ＮＭＲ）スペクトル，赤外吸収（ＩＲ）スペクトル，マススペクトルなどの代表的な機器分析法の基本的知識と，データ解析のための基本的技能を修得する。	有機構造解析学 化学系薬学実習
Ｃ５　ターゲット分子の合成 入手容易な化合物を出発物質として，医薬品を含む目的化合物へ化学変換するために，有機合成法の基本的知識，技能，態度を修得する。	
⑴　官能基の導入・変換 個々の官能基を導入，変換するために，それらに関する基本的知識と技能を修得する。	有機薬化学Ⅰ 有機薬化学Ⅱ 有機薬化学Ⅲ 化学系薬学実習
⑵　複雑な化合物の合成 医薬品を含む目的化合物を合成するために，代表的な炭素骨格の構築法などに関する基本的知識，技能，態度を修得する。	有機薬化学Ⅰ 有機薬化学Ⅱ 有機薬化学Ⅲ